

第35回モントリオール世界映画祭
審査員特別グランプリ受賞

わが母の記

役所広司 樹木希林 宮崎あおい

南果歩 キムラ緑子 / ミムラ 菊池亜希子 三浦貴大 真野恵里菜 / 三國連太郎

脚本・監督:原田真人 原作:井上靖「わが母の記～花の下・月の光・雪の面～」

たとえ忘れてしまっても、
きつと、愛だけが残る。

第35回モントリオール世界映画祭
審査員特別グランプリ受賞

第16回釜山国際映画祭 クロージング作品
第47回シカゴ映画祭 コンペティション部門
第31回ハワイ映画祭 Spotlight on Japan部門
第42回インド映画祭 Kaleidoscope部門
第23回ハームスプリングス国際映画祭 Modern Masters部門

役所広司 樹木希林 宮崎あおい

南果歩 キムラ緑子
ミムラ 菊池亜希子 三浦貴大 真野恵里菜 / 三國連太郎

脚本・監督:原田真人

原作:井上靖「わが母の記～花の下・月の光・雪の面～」

プロデューサー:石塚慶生 撮影:芦澤明子(BC) 美術:山崎秀満
照明:永田英剛 衣装:宮本まさ江 編集:原田遼人 音楽:富貴晴美
録音:松本昇和 整音:矢野正人 音響効果:柴崎憲治 ヘアメイク:吉野節子
スクリプター:川野恵美 VFXスーパーバイザー:小田一生
音楽プロデューサー:竹中恵子 装飾:佐原淳史 小道具:片岸雅浩
助監督:谷口正行 制作担当:金子拓也 ラインプロデューサー:樋口慎祐
配給:松竹 文部科学省特別選定(青年向き、成人向き、家庭向き)
©2012「わが母の記」製作委員会(松竹 キングロード 電通 衛星劇場 CBC Yahoo! JAPAN ソニー 朝日新聞社 静岡新聞)
www.wagahaha.jp

4月28日(土)ロードショー

わが母の記

昭和の文豪・井上靖の自伝的小説を、豪華キャストで描く親子の絆の物語

たとえ忘れてしまっても、
きつと、愛だけが残る。

昭和の文豪・井上靖の自伝的小説を、豪華キャストで描く親子の絆の物語



日本の家族の愛に、
世界の観客も泣いた！

モントリオール世界映画祭での受賞をはじめ、ブサン、シカゴ、ハワイ、インド…続々と海外映画祭に招待され、世界中の観客に温かな感動を届けている本作が、いよいよ日本公開されます。

小説家の伊上洪作は、子供の頃、両親と離れて育てられたことから、母に捨てられたという想いを抱きながら生きてきた。父が亡くなり、残された母の暮らしが問題となり、長男である伊上は、妻、琴子ら3人の娘たち、そして妹たちに支えられ、ずっと距離をおいてきた母・八重と向き合うことになる。老いて次第に失われてゆく母の記憶。その中で唯一消されることのない、真実。初めて母の口からこぼれ落ちる、伝えられなかった想いが、50年の時を超え、母と子をつないでゆく…。

家族だからこそ、言えないことがある。家族だからこそ、許せないことがある。それでも、いつかきつと想いは伝わる。ただ、愛し続けてさえいれば…。たとえ時代が変わり、社会が複雑になり、困難な未来が訪れても、家族の絆だけは変わらない。人と人との絆の大切さを知った今の時代にこそ、ふさわしい希望に満ちた普遍的愛の物語が、日本中を感動で包みます。



昭和の文豪・井上靖の自伝的小説を、
豪華キャストで描く親子の絆の物語。

原作は、昭和を代表する文豪・井上靖が、家族との実話をもとに綴った自伝的小説「わが母の記」花の下・月の光・雪の面々。「天平の甍」「敦煌」を始めとする数々のベストセラーを生み出し、多くの作品が今現在もテレビ化・映画化されている、まさに国民的作家です。

監督は、『突入せよ！あさま山荘事件』『クラ イマーズ・ハイ』などの社会派作品で高く評価されている原田真人。主人公の伊上洪作に役所広司、母の八重に樹木希林、娘の琴子には宮崎あおい他、日本を代表する実力俳優たちの豪華競演が実現しました。

また、撮影は、井上靖が家族とともに過ごした東京・世田谷区の自宅で行われ、数々の名作が誕生した実際の書齋を使用。故郷である伊豆・湯ヶ島、そして軽井沢を舞台に山のふもとに広がるわさび田、海から臨む富士山など、ずっと残しておきたい日本の美しい風景を存分にきりとりました。



初めて知る、母の想い。50年の時を経てつながる、家族のラブストーリー。

4月28日(土)
母の愛に涙する。



特製ツボ押し“わがツボの木”付
前売鑑賞券発売中!!
一般券 1,300円(税込)

※1枚につき、1個。
※数量限定、なくなり次第終了します。
※一部劇場を除く。※前売特典は劇場窓口限定です。